

# 独創的な5例を表彰

減量・再使用・再生利用

3R活動コンテスト



「わたしの自慢の3R活動コンテスト」の表彰式。最優秀賞の石川由里さん（前列左から2人目）ら5個人・団体が表彰された＝県庁

県が募集した「わたしの自慢の3R活動（減量・再使用・再生利用）コンテスト」の表彰式が24日、県庁であった。最優秀賞には破損した傘を有効活用している大分市の主婦、石川由里さん（48）の取り組みが選ばれた。

コンテストには、各家庭や地域で3R活動を実践している個人、団体から17例の報告があった。独創性や有効性などを審査し、5例の入賞を選んだ。

石川さんの家族は骨が折れた傘を部品取り用に保管し、別の傘の修理に使用。洗濯のすすぎ水を再利用するほか、贈答品のバス

タオルを枕カバーにし、使い古したら縫い合せてバスマットにするなどしている。

表彰式では諏訪義治県生活環境部長が「これからも積極的な活動を展開してほしい」とあいさつ。石川さんは「両親から教わり、

家族に根付いている取り組みの一部を紹介した。今後「3Rハンドブック」に掲載する。

入賞例は県が発行する「3Rハンドブック」に掲載する。

他の入賞者・団体は次の通り（敬称略）。  
▽優秀賞 飯田香織（由布市臼杵市生活学校、杵築市環境ネットワーク）▽特別賞 ガールスカウト県連盟